

【施策評価調査】

施策名	1-1-1	宝積寺駅西第一土地区画整理事業		70	政策「1-1 計画的な市街地整備」を実現するためには、 快適に暮らせるまちづくりの実現に向け、区画整理事業を計画どおりに実施すること。 宝積寺駅周辺地区を整備し、利便性の向上を図ること。 景観条例を制定し、良好な景観を形成すること。 ですが、そのうちこの施策については、の快適に暮らせるまちづくりのために、駅西地区の良好な住環境形成の上で、道路・下水道等と一体的・計画的な整備を行うこととします。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部署	建設産業部都市整備課	担当 リーダー	区画整理担当 岡田 勉		施策目的 快適に暮らせるまちづくりの実現に向けて、平成20年度完了を目指して、宝積寺駅西第一土地区画整理事業を行います。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)
環境変化	事業施工期間を延長し平成24年3月とした。				

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：区画道路築造(4,710m)の進捗率(%)	平成16年度進捗率	計画	45.2%	85.0%	100.0%		
	36.1%	実績	45.20%	48.15%	50.80%		
指標：家屋移転戸数(110棟)の推進率	平成17年度進捗率	計画	68.2%	76.4%	85.5%	94.5%	100.0%
	60.9%	実績	68.20%	72.72%	80.00%		
指標：		計画					
		実績					
指標に関する特記事項	区画道路築造の進捗率 = 全体で 4,710m H20は 148.6m築造、累計 2,394m(50.80%)を実施 家屋移転戸数の進捗率 = 全体で110棟 H20は 5棟契約、累計 88棟(80.00%)を実施						

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	97,466,000	416,849,000	413,490,000		
	決算	224,137,003	430,625,965	283,085,548		

事務事業事後評価 20年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか?(アウトカム)			
区画整理事業費	当初 273,385,000	家屋移転戸数進捗率(単位:%)	A	本年の事業については、8棟の移転計画に対して5棟の合意を得ることができました。なお棟が未契約線越となりましたが、年度内に合意を得ております。今後も、事業計画どおりに進捗させるため、全ての地権者の合意が得られるよう取り組みます。			
	決算 172,620,774	80.0 / 85.5%		今後の方向性(自己評価) 継続 今後の方向性(総合評価) 継続			
区画整理事業特別会計繰出金	当初 140,105,000	家屋移転戸数進捗率(単位:%)	A	本年の事業については、8棟の移転計画に対して5棟の合意を得ることができました。なお棟が未契約線越となりましたが、年度内に合意を得ております。今後も、事業計画どおりに進捗させるため、全ての地権者の合意が得られるよう取り組みます。			
	決算 110,464,774	80.0 / 85.5%		今後の方向性(自己評価) 継続 今後の方向性(総合評価) 継続			
	当初			今後の方向性(自己評価) 今後の方向性(総合評価)			
	決算	/		今後の方向性(自己評価) 今後の方向性(総合評価)			
	当初			今後の方向性(自己評価) 今後の方向性(総合評価)			
	決算	/		今後の方向性(自己評価) 今後の方向性(総合評価)			
	当初			今後の方向性(自己評価) 今後の方向性(総合評価)			
	決算	/		今後の方向性(自己評価) 今後の方向性(総合評価)			

施策事後評価 20年度の検証

自己評価	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
	当該年度の事業については、建物移転補償費において、未契約線越が3棟あったが全て地権者の合意を得ており全体的には概ね計画的に進めることができた。平成23年度末の事業完了を目指し計画的に進めていきたい。	事業完了年度を3年間延長し平成23年度末とした。全体計画における進捗が遅れている状況にある。今後は合意が得られない地権者を中心に合意形成を進めていきたい。
総合評価	総合評価	少しずつではあるが、合意形成に向けて継続的に施策展開されていると評価するが、事業期間の延伸に伴う事業費の精査や、他事業との整合を図りながら、十分な説明と調整を行い、早期に事業が完了にすることを望む。

境を
業を

